



## &lt; 工事進行基準と「経審」 &gt;

「工事契約に関する会計基準」が、本年(平成21年)4月1日以後開始事業年度から適用されます。この会計基準では、原則として工事進行基準により収益を計上することになります。また、中小の企業におきましても「中小企業の会計に関する指針」が改正されて、「工事契約に関する会計基準」と同様の会計処理をする予定になっています。工事進行基準への対応は、多くの専門家が解説していますので、ここでは「経審」への影響、特に、経営状況(Y 評点)への影響にしばって考えてみましょう。

まず、工事完成基準から工事進行基準に変更した場合に財務諸表がどのように変化するかを見てみましょう。説例 1 工事の概要によりますと、請負金額は1億5百万円(消費税地方消費税を含む。)で、工事原価の見積額は9千万円、当期までの発生工事原価は7千2百万円(いずれも消費税等を含まない税抜金額)で、決算期における工事進捗度を合理的に反映しているものとします。この場合は、工事進行基準による完成工事高は8千万円(消費税等を含まない税抜金額)になります。工事完成基準から工事進行基準へ変更する仕訳は説例 2 仕訳のようになり、それぞれの財務諸表は、3 財務諸表のようになります。

説例の財務諸表を見て分かることは、工期中に未成工事受入金(工事前受金)を受領している場合には、未成工事受入金、未成工事支出金がなくなって、負債合計、総資本が小さくなります。したがって、負債回転期間(X2)、総資本総利益率(X3)、自己資本比率(X6)がよくなります。その工事の未成工事受入金が全くない場合には、負債合計、総資本はむしろ大きくなり、これらの指標の点数は悪くなります。

どちらの場合が多いかは正確には分かりませんが、負債総額、総資本が小さくなる場合が多いのではないかと思います。

損益計算書では、このケースでは利益が増えていますが、計上する時期に差があるだけで、工事進行基準の方が利益が高いわけではありません。工事進行基準は工事完成基準に比べ、完成工事高を前倒して計上する会計処理です。通常は赤字工事は少ないと考えられますので、利益を先食いする方法です。そこで、通常は自己資本対固定資産比率(X6)、利益剰余金(X8)がよくなります。また、利益が平準化されて業績にぶれが出にくくなります。このことが「経審」にとってよいかどうかは一概に言えません。また、工事進行基準はどんどん利益を計上していきますので、感覚的には余裕がなくなる

ような気がします。(つづく。次月号では、「経審」の改正からの制度との関係を見ていきます。)

WISENET編集部 松村 清(税理士)

## 説例

## 1. 工事の概要

請負金額	105,000,000 (消費税等を含む。)
工事原価総額の見積額	90,000,000 (消費税等を含まない税抜金額)
決算日までの発生工事原価	72,000,000 (消費税等を含まない税抜金額)
	工事原価中に前渡外注費はありません。
未成工事受入金(工事前受金)	63,000,000

$$\text{完成工事高} = 100,000,000 \times \frac{72,000,000}{90,000,000} = 80,000,000$$

工事進捗度の計算 原価比例法

## 2. 仕訳

完成工事未収入金	21,000,000	完成工事高	80,000,000
未成工事受入金	63,000,000	仮受消費税等	4,000,000
		消費税等の処理も法人税と同様の処理とします。	
完成工事原価	72,000,000	未成工事支出金	72,000,000
		仮払消費税等は振替済	
法人税住民税及び事業税	3,200	未払法人税等	3,200
		法人税率は、簡略化のため40%とします。	

## 3. 財務諸表

## 工事完成基準

貸借対照表		単位:千円	損益計算書		単位:千円
流動資産	負債		完成工事原価	完成工事高	
未成工事支出金	未成工事受入金		900,000	1,000,000	
72,000	60,000		販売費一般管理費		
	預り金		80,000		
	3,000		税引前当期純利益		
1,000,000	700,000		20,000		
固定資産	純資産		法人税等		
			8,000		
200,000	500,000		当期純利益		
資産合計	負債純資産合計		12,000		
1,200,000	1,200,000				

## 工事進行基準

貸借対照表		単位:千円	損益計算書		単位:千円
流動資産	負債		完成工事原価	完成工事高	
完成工事未収入金	未成工事受入金		972,000	1,080,000	
21,000	0		販売費一般管理費		
未成工事支出金	未払消費税等		80,000		
0	4,000		税引前当期純利益		
	未払法人税等		28,000		
	3,200		法人税等		
949,000	644,200		11,200		
固定資産	純資産		当期純利益		
			16,800		
200,000	504,800				
資産合計	負債純資産合計				
1,149,000	1,149,000				

過年度着工工事については、工事進行基準を適用していません。

## 重要 Wise FAXNET メール配信移行のお知らせ

平素よりご愛読頂き誠にありがとうございます。本 FAXNET ですが、本年7月号よりメールでのご案内に完全移行させて頂くこととなりました。配信登録頂いた方々には、経審や建設業関連ニュースをいち早くお届けしております。大変お手数ではございますが、この機会に是非弊社 HP よりご登録頂くことをお奨め致します。尚、既にメールアドレスをお知らせ頂いている方につきましては、順次弊社にてご登録させて頂きます。何卒ご理解とご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

送信先宛名変更(右欄に変更後の宛名をご記入ください)

今後「Wise FAXNET」送信不要

FAX 送信はこちらまで 0269-65-4745

資料・デモをご希望の方は、下記にご連絡先をご記入下さい。ユーザー様で前回登録時と変更のない場合には、貴社名とご担当者名、TEL のみをご記入下さい。

貴社名

ご担当者様

ご役職・部署名

TEL

FAX

今後メールでの送信をご希望される場合は下記にアドレスをご記入下さい。

e-mail

「WISE FAXNET」は建設業業務支援ソフト「Wisdom(ウィズダム)」ユーザー様、ワイズ公共データシステム(株)に経営状況分析申請を頂いたお客様、又は資料のご請求を頂きましたお客様及び研修会で名刺交換をさせていただきました皆様等に経審に関する最新情報、経審書類作成のワンポイントを紹介、月一回の発行となります。内容に関するお問い合わせ、バックナンバーの請求(99年2月号~)は弊社までご連絡下さい。弊社ホームページよりバックナンバーのダウンロードができます(2月号は2月27日より可能)。ログインIDは「1921」です。入力後、[ログイン]ボタンをクリックして下さい。ワイズホームページ <http://www.wise.co.jp/>